



うさぎぐみだより 2月

尚徳福祉会 とちょう保育園



真冬の寒さに負けず、元気いっぱい遊ぶ子どもたち。ひんやりとした冷たい空気を肌を感じたり白い吐息を吐いたり、小さな体で季節を感じながら過ごしています。そして2月は節分!!子どもたちはイベントに向けて準備万端♪保育園にオニがやってきても負けないぞと張り切っています。(実際にはやってきませんのでご安心を♪)



つくってあそぼう!!

近頃のうさぎぐみでは、自分たちで作ったもので遊ぶということがブームになっています。紙コップのロケットやビニール袋のオバケやオニのお面…使う材料も様々で、子どもたちの好奇心をくすぐります。「セロハンテープはどうやって貼ったらちゃんとくっつくのかな?」「お面を力任せに引っ張ると破けちゃうんだな」と、作る楽しさの他に多くのことを発見し、感じて学んでいるんだなと感心させられています。

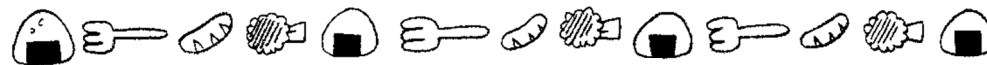


1月に入ってから、遊びの中で少しずつはさみを使うようになりました。はさみを使う時は、落ち着いた気持ちでできるように静かな場所を選び、1人~2人ずつ行っています。また、現在は片方の手で紙を持ち、もう片方の手ではさみを動かしながら細長い紙を切り落とす「1回切り」に挑戦中!!折り紙を切ってその感触を十分に味わったり、楽しみながら安全にはさみの使い方を覚えていきたいと思ひます。

2月の保育の目標

生活に必要な習慣が身に付き、見通しを持てるようになってくる。(散歩後やトイレの後に進んで手洗いやうがいができるようになったり、生活動作の流れが自然と身に付くことを目指します。)

友だちに譲ったり順番を待ったりできるようになる。



ねえ、しってる?

お食事中的子ども同士の会話にて…

A君が「ねえB君、お野菜食べるとお顔つるつるになるんだよ、知ってる?」と言いました。するとB君が「知ってるよ! ご飯食べてるから速く走れるんだもんね」と。

一見射を射てないように思えますが、要するにB君はA君が「食べ物を食べると自分の体にどう作用するのか」を伝えているんだということをきちんと理解し、自分も知っていることを伝えようと思つてごはん(白米)の話をしたのです。相手の言いたいことが分かり、別の例を出したことにも驚きましたが、『食べる意味』を理解して、食事に臨むようになってきたのだということに、大きな成長を感じました。それもあつてか、お昼ごはんのメニューや食材の名前を気にして保育士に質問するお友だちが急増中です!!



おねがい

安全と衛生のため、髪長いお子様は結んで登園していただきますようお願いいたします。

(紛失や誤飲事故など防止のため、シリコンゴムのご使用は避けて下さい。)

ご理解とご協力をお願いいたします。